



Arcserve UDP で実現する ハイパーバイザ間のシステム移行

仮想環境のツールの制限を超えた移行を実現

2026/02/13 (rev 1.1)

ハイパーバイザの移行や変更の要因 (一部)



セキュリティ脆弱性の懸念...

パフォーマンス向上の要望...

古い環境からの移行...

ランニング コストの負荷...

仮想ベンダの
ライセンス モデルの変更...



複数のハイパーバイザ
運用負荷...

**ハイパーバイザの移行や変更は
仮想ベンダ提供の移行ツールでできる??**

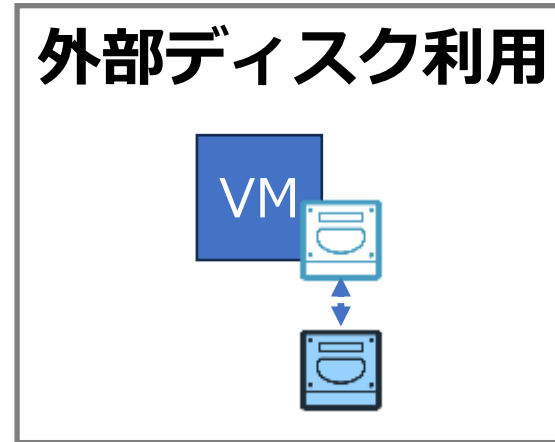
仮想化ベンダ提供ツールで移行できないケース



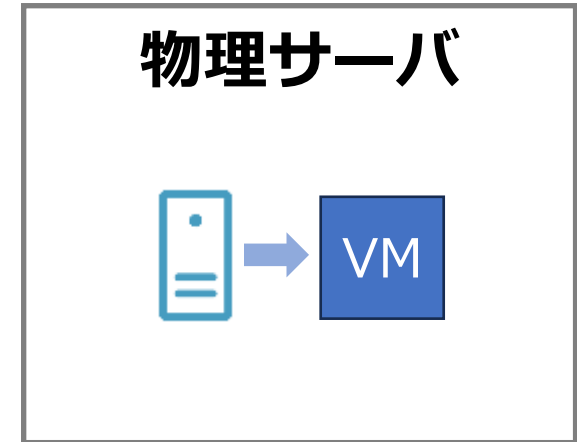
一部のアプリケーション*
クラスタ/高可用性*



かなり古いハイパーバイザ



RDM(パススルーディスク)*

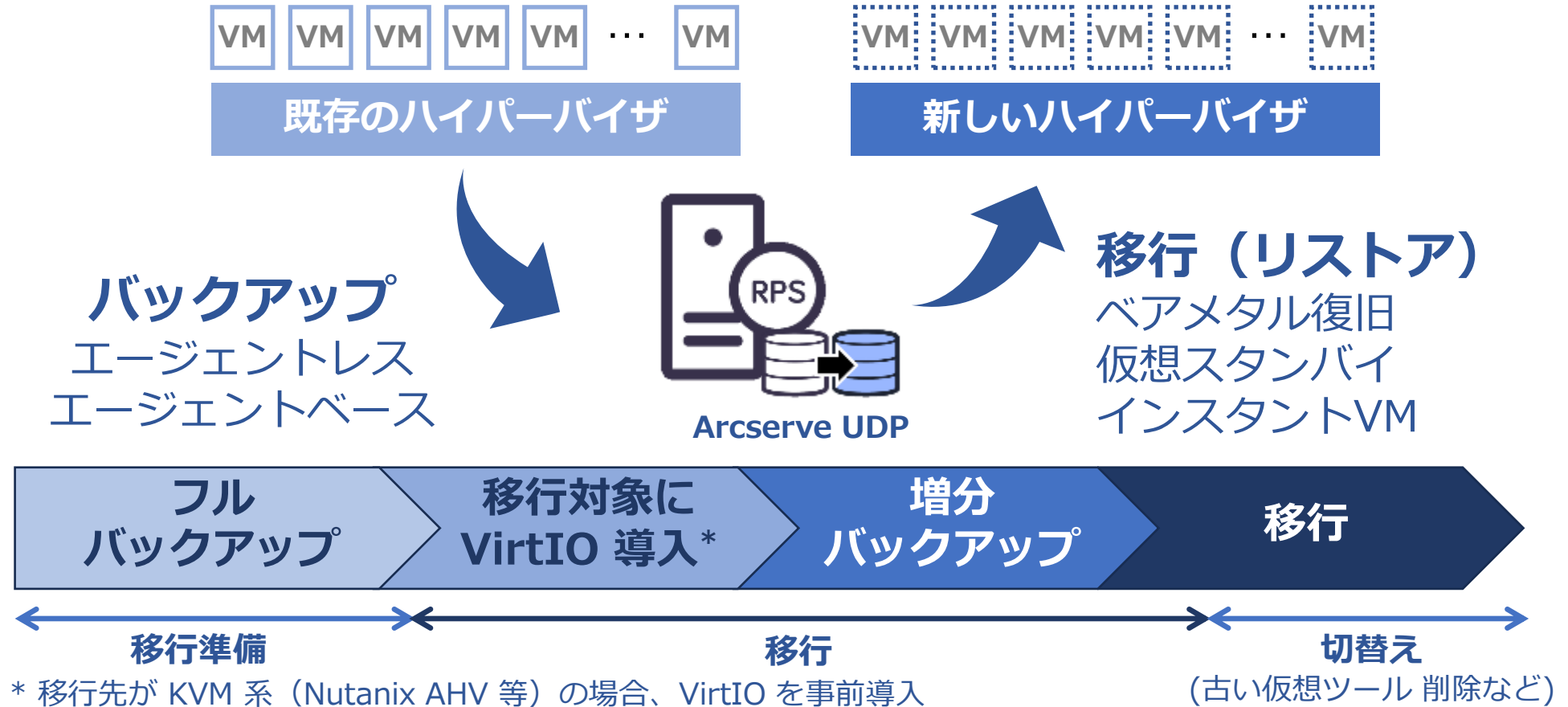


物理サーバの仮想移行

**Arcserve UDP なら、上記ケースでも仮想移行を実現
移行ツールとの併用により、無理のない移行計画を立案可**

* 移行制限は移行先のハイパーバイザによって相違あり

Arcserve UDP を使った移行方法

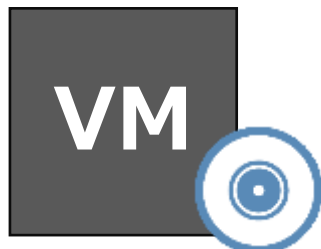


**Arcserve UDP なら様々な方法で異なるハイパーバイザ間の移行を実現
切り替え時間も切り替え直前の増分バックアップで移行時間を短縮**

移行方法の内容



ベアメタル復旧



移行時に仮想マシンの枠を手動作成
(CD ブートで仮想マシンを起動 & 復旧)

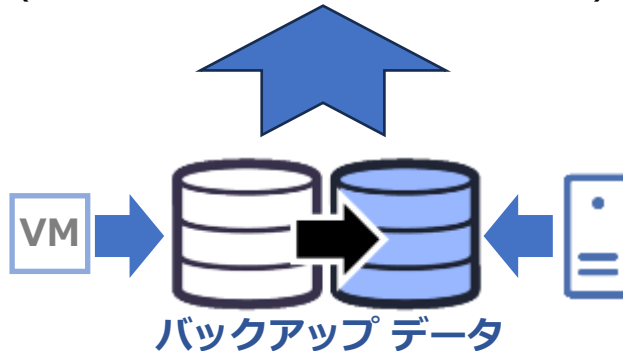


Windows / Linux 環境
オールマイティな移行方法
(KVMなどに移行する場合)

仮想スタンバイ



バックアップ時に仮想マシン自動作成
(移行前に復旧済の仮想マシン作成)

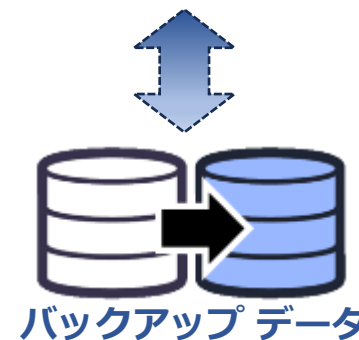


Windows 環境

インスタントVM*



移行時に仮想マシンを手動作成
(ディスクの母体はバックアップデータ)



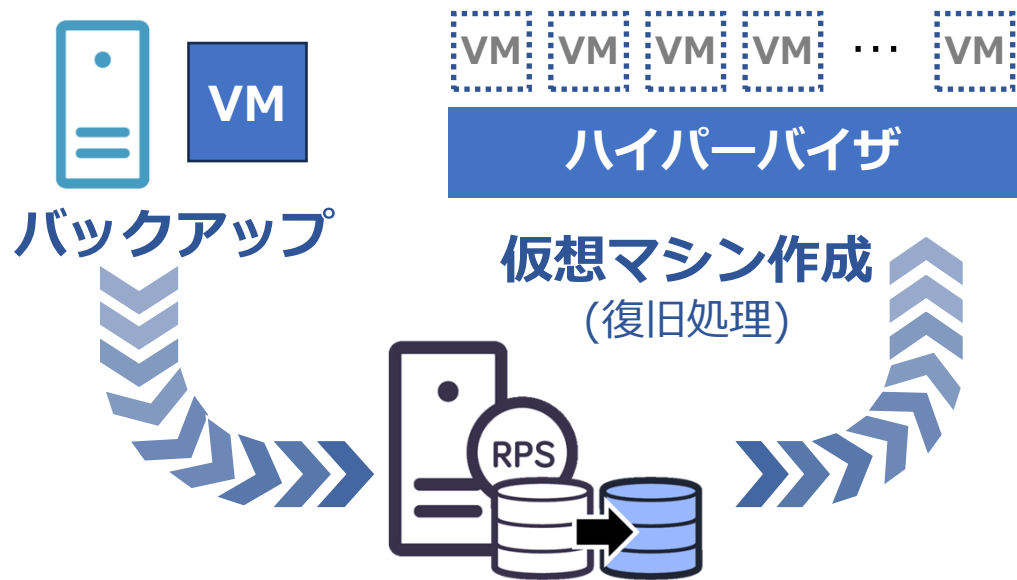
Linux 環境

* クロスハイパーバイザの移行は 次ページ参照

補足: 仮想スタンバイとインスタントVM

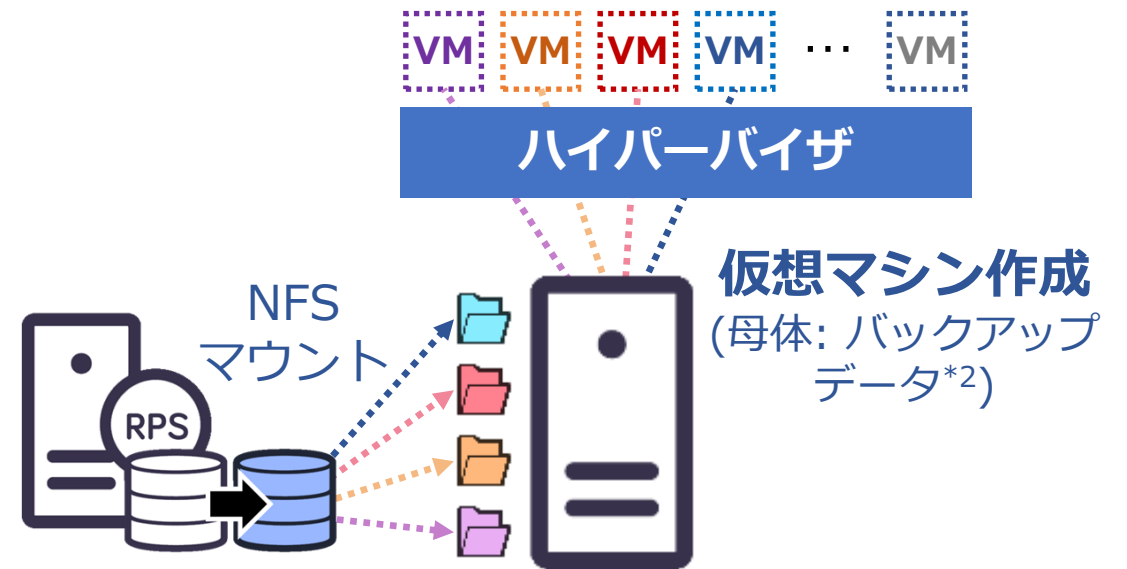


仮想スタンバイ*1



1つの設定で自動作成

インスタントVM*1



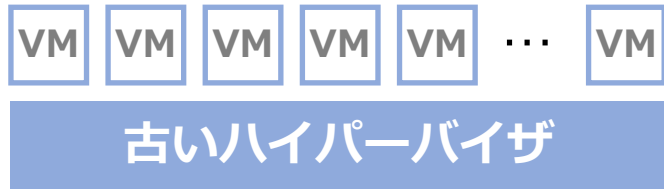
手動でいつでも作成可

*1 仮想スタンバイ / インスタントVM は対応 OS と 対応ハイパーバイザの種類/バージョンを事前に動作要件で要確認

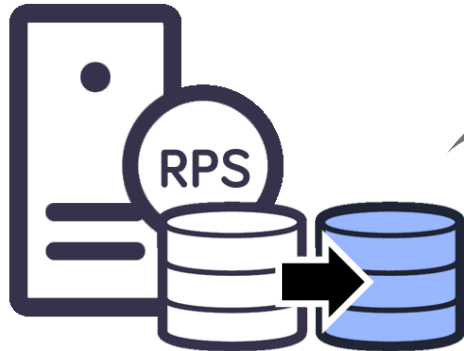
動作要件: <https://support.arcserve.com/s/topic/0TOfJ00000061qAWAQ/arcserve-udp-compatibility-matrix?language=ja>

*2 Linux 環境は仮想マシンの起動時や起動後 (稼働中のまま) にリストア実施可、Windows 環境は起動後に Storage vMotion などを実施

ライセンスの使いまわしができる Arcserve UDP

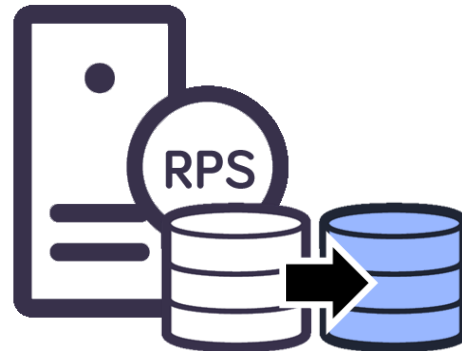


バックアップ



ライセンス
付け替え

バックアップ



ハイパーバイザ変更でも
標準ライセンスで対応*1

ユーザ様にて
ライセンス付け替えを実施可

不足ソケット分のみ
追加購入*2
(余剰分は他環境に転用可)

*1 他のハイパーバイザから Nutanix AHV 環境に移行する場合は、無償アップグレードを利用 (メンテナンス有効期間中のみ利用可)
申請先: <https://www.arcserve.com/jp/freeup> → 連絡事項欄に「Advanced Edition for Nutanixへ切り替え希望」と記載
Arcserve UDP Premium Edition、もしくは Premium Plus Edition を利用中の場合は、無償アップグレード不要

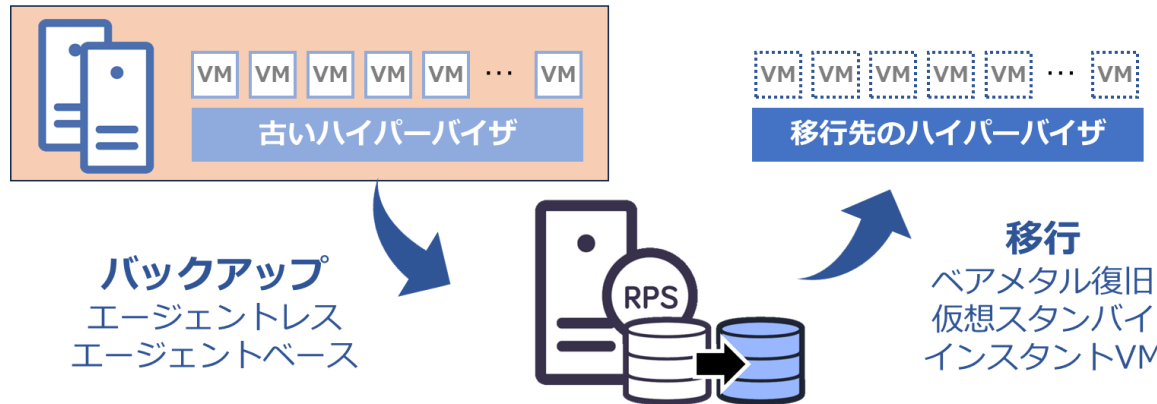
*2 物理サーバを「Arcserve UDP サーバライセンス」で運用されている場合、仮想環境への付け替えには有償アップグレードの購入が必要

※ 環境移行における OS やアプリケーションなどのライセンス ポリシーは、該当ベンダ様に要確認

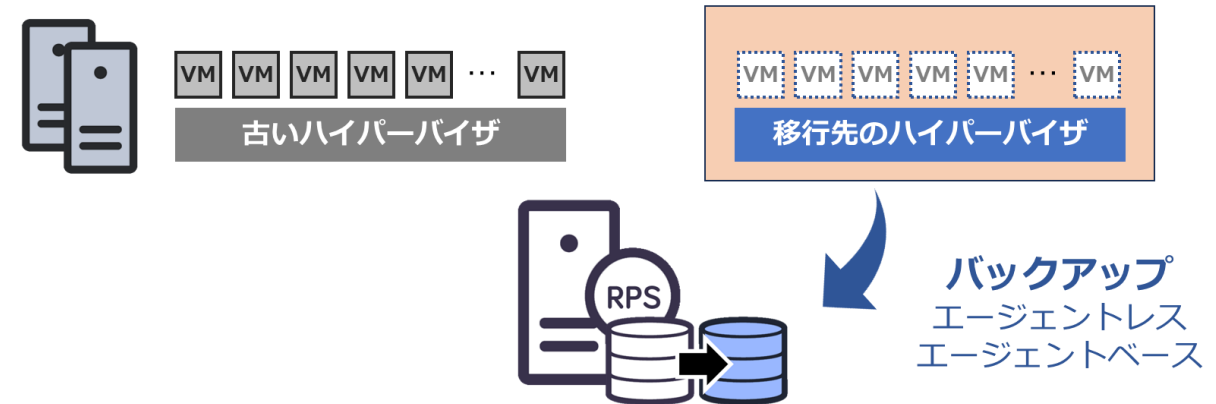
Arcserve UDP のライセンスが求められるタイミング



移行準備/移行中



移行後



Arcserve UDP は “バックアップ時に” ライセンス発生

(移行先の仮想マシンを起動してもArcserve UDP のライセンスには影響しない)

Arcserve UDP のライセンスが必要な物理サーバ と 仮想ホスト (仮想環境は仮想ホストの CPU ソケット数で課金)

※ 環境移行や同時起動時における OS やアプリケーションなどのライセンス ポリシーは、該当ベンダ様に要確認

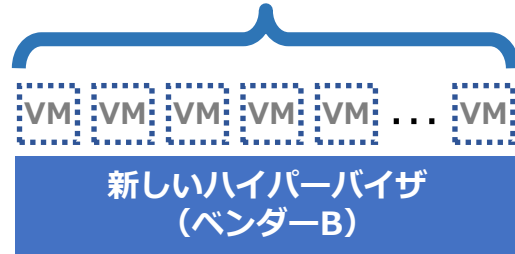
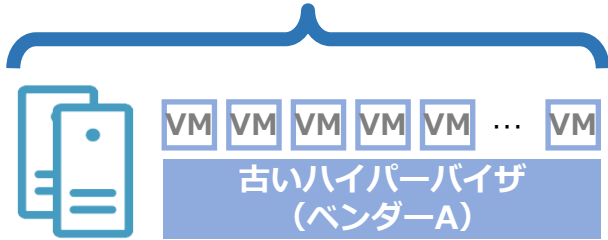
移行期間中の新旧ハイパーバイザの保護について



移行期間中

継続利用ライセンス ※1
(永久ライセンス)

一時利用ライセンス
(サブスクリプション)



バックアップ

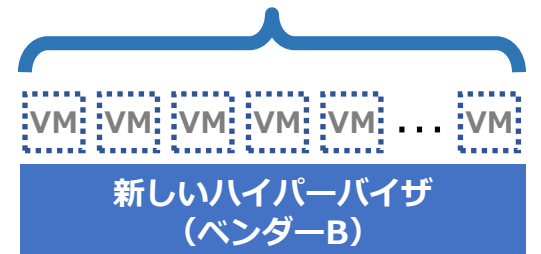
バックアップ



移行後

継続利用ライセンス ※1
(永久ライセンス)

一時利用ライセンス
(サブスクリプション)



バックアップ



サブスクリプションライセンス※2の活用で移行期間中でも新旧ハイパーバイザを保護

※1 継続利用ライセンスがサブスクリプションの場合は、新旧ハイパーバイザーを1つのUDPコンソールで管理可能

※2 サブスクリプションライセンスは年単位契約

Arcserve UDP “Appliance” ならライセンス考慮不要



バックアップ
ソフトウェア



バックアップ用
ハードウェア



5年間
メンテナンス付



古いハイパーバイザ

新しいハイパーバイザ



Arcserve UDP Appliance

Arcserve UDP に
最適なサイジングを施した
バックアップ専用サーバ

ライセンスフリー
Arcserve UDP Advanced Edition の
ライセンス使い放題

5年間のソフトウェア/ハードウェア保守付き
ハードウェアの
部品交換はオンサイト対応

Arcserve UDP による移行方法のマトリックス



凡例: ○ 対応 × 未対応 – 該当なし

移行元データ			Microsoft Hyper-V			VMware vSphere			Nutanix AHV			その他のハイパーバイザ
			ベアメタル復旧	仮想スタンバイ	インスタントVM	ベアメタル復旧	仮想スタンバイ	インスタントVM	ベアメタル復旧	仮想 *1スタンバイ	インスタントVM	ベアメタル復旧
Hyper-V	エージェントレス	Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	×	–	○	×	–	×	×	–	×	×
	エージェントベース	Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	○*2	–	○	○	–	○	○	–	○	○
vSphere	エージェントレス	Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	×	–	×	×	–	○	×	–	×	×
	エージェントベース	Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	○*2	–	○	○	–	○	○	–	○	○
AHV	エージェントレス	Windows	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
		Linux	×	–	×	×	–	×	×	–	○	×
	エージェントベース	Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	○*2	–	○	○	–	○	○	–	○	○
その他のハイパーバイザ / 物理サーバ		Windows	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		Linux	○*2	–	○	○	–	○	○	–	○	○

*1 UEFIブートは未対応

*2 Arcserve UDP10.3 以降の[AlmaLinux9-Gnome ベースの Live CD](#) でのみ Hyper-V ゲスト Linux のベアメタル復旧をサポート (但し、GnomeベースのLiveCDでは、Red Hat Enterprise Linux 10.0, Rocky Linux 10.0, AlmaLinux 10.0, Oracle Linux 10.0 のベアメタル復旧は非サポート)

補足

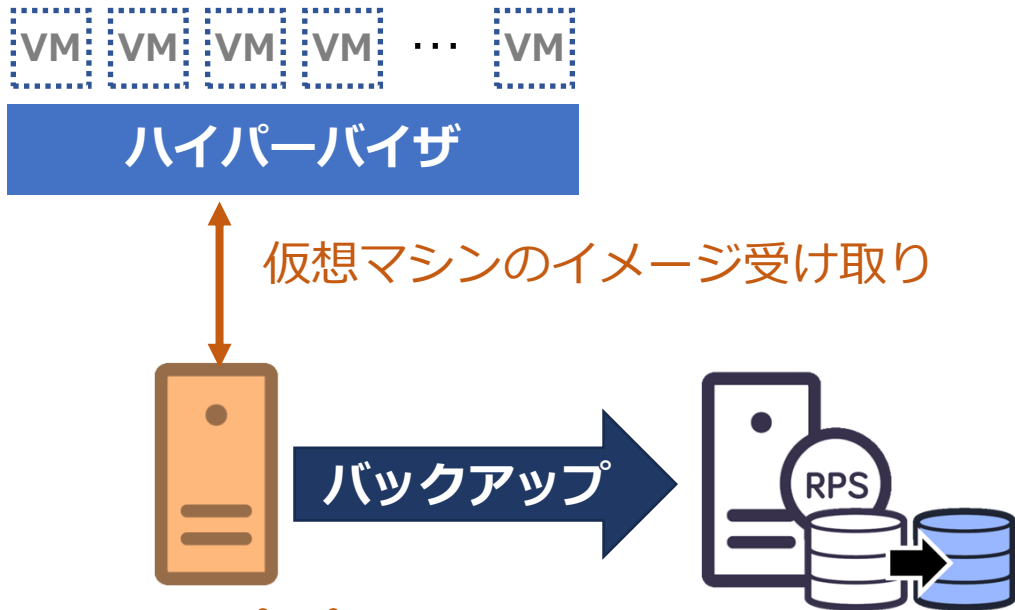


エージェントレスと仮想スタンバイで必要なリソース



バックアップ プロキシ

エージェントレス バックアップの代理サーバ

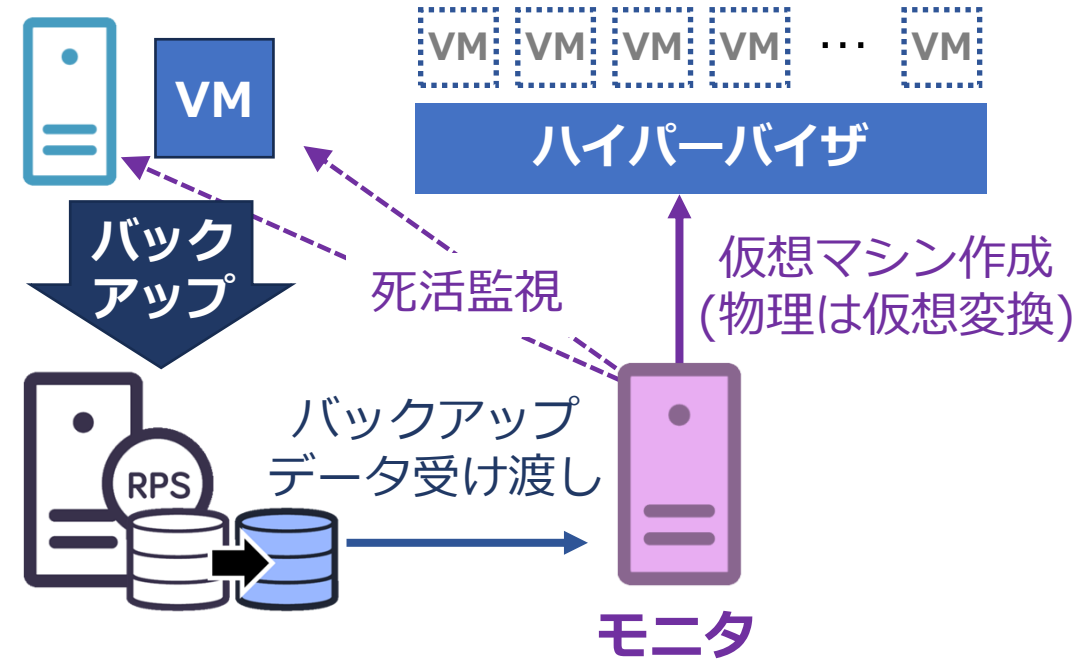


バックアップ プロキシ

Arcserve UDP Windows Agent
(もしくは復旧ポイントサーバ)

モニタ

仮想スタンバイ機能の仮想変換/死活監視



モニタ

Arcserve UDP Windows Agent
(もしくは復旧ポイントサーバ)

エージェントレス バックアップのプロキシ配置場所



凡例: ○ 対応 × 未対応

プロキシ配置	ハイパーバイザ	Hyper-V	vSphere	AHV
物理サーバ		○	○	○
仮想マシン (Hot-Add)		○	○	○
仮想ホスト		○	×	×

仮想スタンプのモニタ配置場所



凡例: ○ 対応 × 未対応

モニタ配置	ハイパーバイザ	Hyper-V	vSphere	AHV
物理サーバ		×	○	×
仮想マシン (作成ホスト上)		×	○	○
仮想ホスト (作成先)		○	×	×

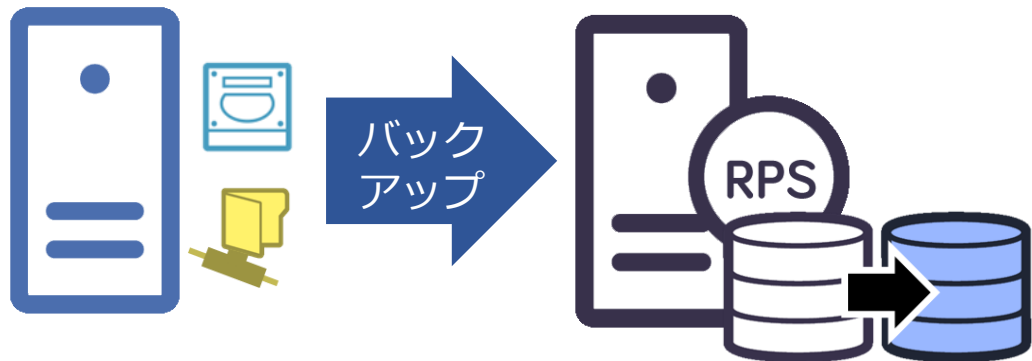
共有フォルダのバックアップ ライセンスの違い



物理サーバから仮想マシンに移行する場合の留意点

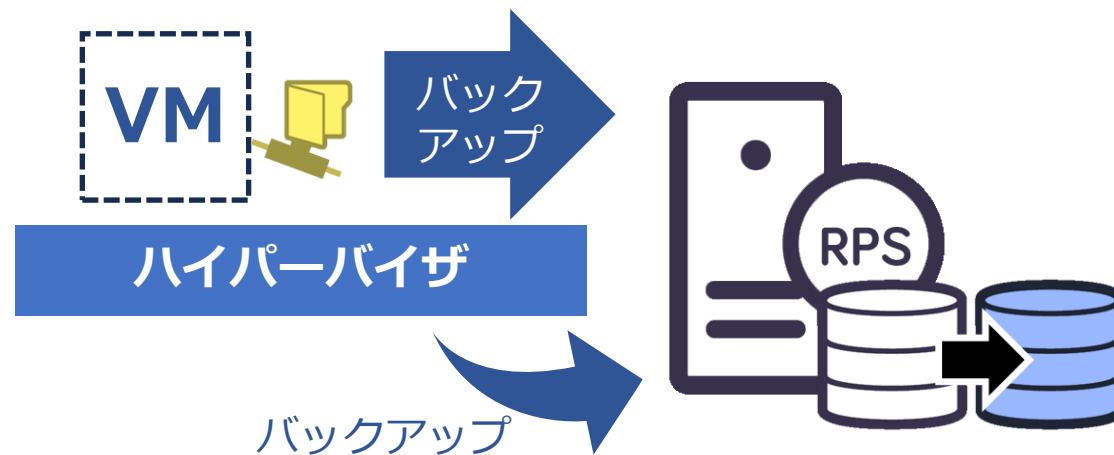
物理サーバ内の共有フォルダ

物理サーバに対して
ライセンス発生



共有フォルダ用の別ライセンス不要
(物理サーバ用のライセンスでバックアップ可)

仮想マシン内の共有フォルダ



共有フォルダ用の別ライセンス要
(仮想マシン用のライセンス**適用不可***)

* 仮想マシンのバックアップ方法 (エージェントレス/エージェントベース) に関係なく、共有フォルダのバックアップ用ライセンスを別途準備

ハイパーバイザの対応バージョンと注意/制限事項



サポートサイト*

動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-10-X-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>

注意/制限事項

<https://support.arcserve.com/s/article/2024110101?language=ja>

リリースノート*

制限事項

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/Update3/default.htm#udp_rn_limitation.htm

既知の問題

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/Update3/default.htm#udp_rn_known_issues.htm

* サポートサイトは Arcserve UDP 10.x 、リリースノートは Arcserve UDP 10.3 のリンク。そのほかのバージョンは、下記 URL からアクセス (ドキュメントには、ベアメタル復旧を “BMR”, インスタント VM を “インスタント仮想マシン” と掲載している部分あり)

各バージョンのドキュメントリンク (ドキュメントリンクからリリースノートを参照)

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TOFJ00000061rXWAQ/arcserve-udp-product-documentation?language=ja>

各バージョンのサポートサイト

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TOFJ00000061qAWAQ/arcserve-udp-compatibility-matrix?language=ja>

arcserve®

arcserve Japan合同会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング

購入前のお問い合わせ:

Tel: 0120-410-116 (営業時間: 平日 9:00~17:30)

E-mail: JapanDirect@arcserve.com

Webフォーム: [お問い合わせフォーム](#)

arcserve.jp   

This document could include technical inaccuracies or typographical errors. Changes are periodically made to the information herein. These changes may be incorporated in new editions of this document. Arcserve may make improvements in or changes to the content described in this document at any time.

© 2024 Arcserve. All rights reserved. All Arcserve marks referenced in this presentation are trademarks or registered trademarks of Arcserve in the United States. All third party trademarks are the property of their respective owners.